文化シヤッター

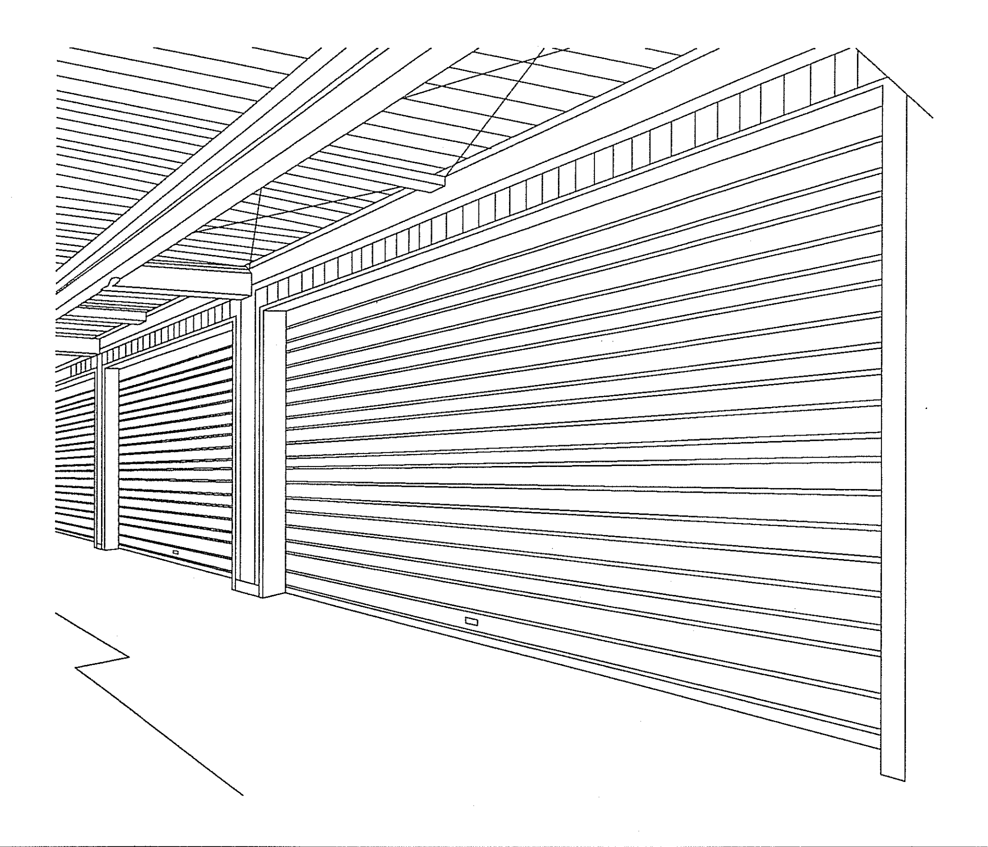
● お問合せは

S200

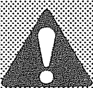
95.7.1-00-J

オーバースライディングドア電動式

取扱説明書



ご使用の皆様へ



この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
わからないことや不具合が生じた時にはもう一度ご覧ください。
また、いつでも使用できるように大切に保管してください。

建設会社、お施主様へ

この取扱説明書をご使用になる方へ必ずお渡しください。

文化シヤッター

⚠ 安全にお使いいただくために

- このシャッターのご使用前に「ご使用上の注意」をよく読み、理解してから使用してください。
- 長期間正常な使用ができるように、「定期点検契約」を結んでいただくようお願いいたします。

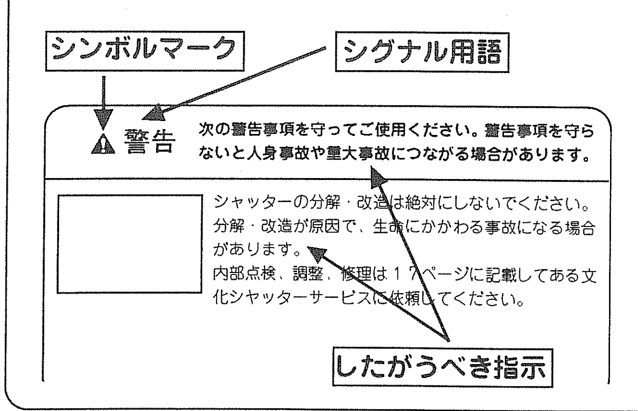
- 安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、本取扱説明書では次のようなシンボルマークとシグナル用語で危険のレベル分けをしています。

⚠ 危険 取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性（切迫の度合い）が高い限定的な場合（高度な危険を含む）。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。

⚠ 注意 取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

本文では以下のように使用します。



「シグナル用語」に続くしたがうべき指示を十分守らないと、人身事故につながることになります。

- 上記以外の「お知らせ」には次のようなシグナル用語を使用しています。

注　記 取扱いを誤った場合に、本製品に故障が発生したり、性能が発揮できないことが想定される場合。

はじめに

- この取扱説明書は、実際に「オーバースライディングドア電動式」をご使用になる方（管理者・オーナー）のために使用方法を説明したものです。
- 最初に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、「オーバースライディングドア電動式」をご使用ください。
- 経験者の方でも、少しでも不確かな点がありましたら、この取扱説明書をよくお読みのうえ、確かめてから「オーバースライディングドア電動式」をご使用ください。

目　次

1. ⚠ ご使用上の注意

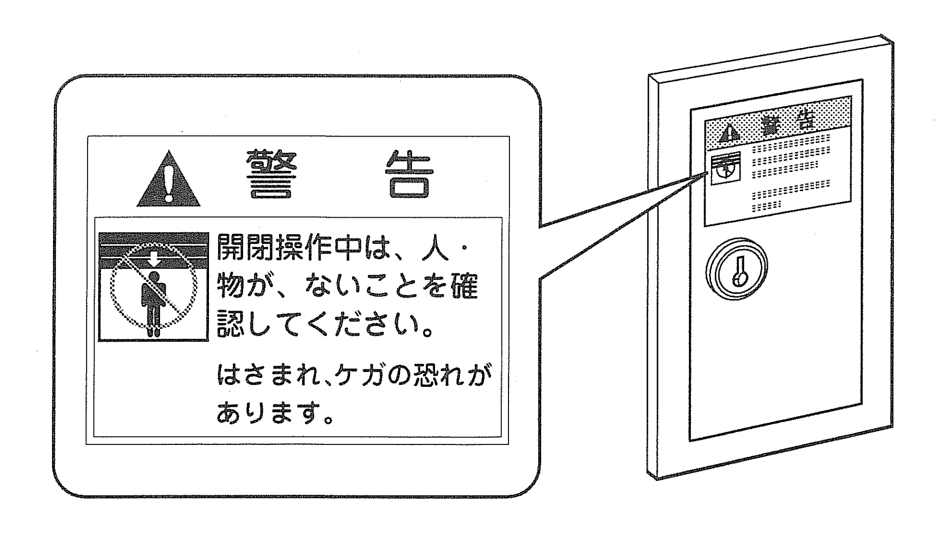
● この章に記載されている内容をよくお読みのうえ「オーバースライディングドア電動式」をご使用ください。

● この取扱説明書は必要なときに、いつでも取り出してお読みいただけるよう大切に保管してください。

● 「オーバースライディングドア電動式」に貼付されている警告ラベルと、この取扱説明書に表示されているすべての注意および指示に必ず従ってください。

警告ラベルについて

● 本製品には、危険と安全に関する警告情報を記載した、以下の警告ラベルを貼付または添付しています。警告ラベルの指示には必ず従ってください。



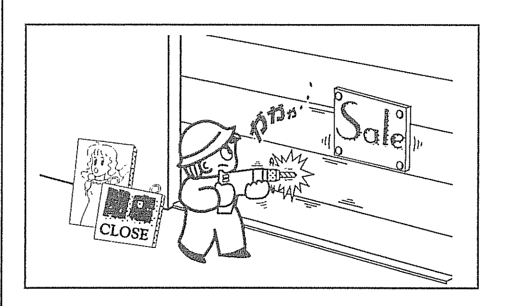
● 警告ラベルが汚れたり、はがれたりした場合は、最寄りの文化シヤッター営業所までご連絡ください。

ご使用上の注意

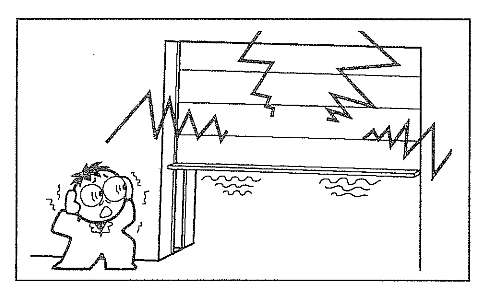
ご使用上の注意

通常時の注意

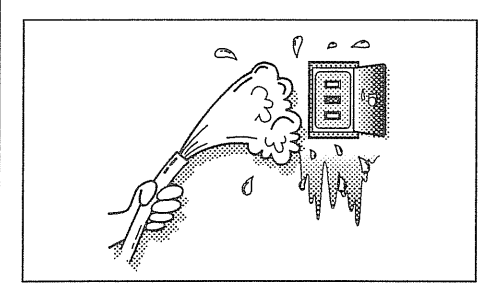
⚠ 警告 次の警告事項を守ってご使用ください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



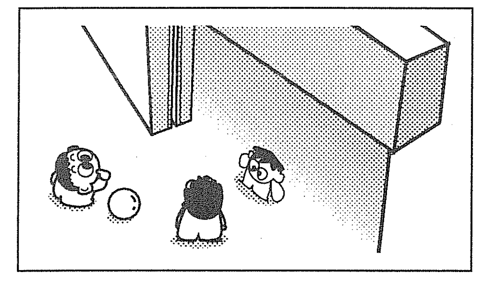
オーバースライディングドアの分解・改造は絶対にしないでください。
分解・改造が原因で、生命にかかわる事故になる場合があります。内部点検、調整修理は24ページに記載してある文化シヤッターサービスにご依頼ください。



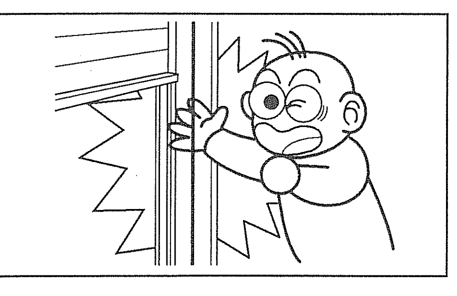
以下の現象が起きたときは、ただちに使用を止め、24ページに記載してある文化シヤッターサービスに修理を依頼してください。
そのまま使用すると、生命にかかわる事故になる場合があります。
・パネルの動きがおかしいとき
・異常音がしたとき



押しボタンスイッチには水をかけたりしないでください。
漏電のため、オーバースライディングドアが勝手に動き出しはさまれたり、感電したりして、生命にかかわる事故になる場合があります。

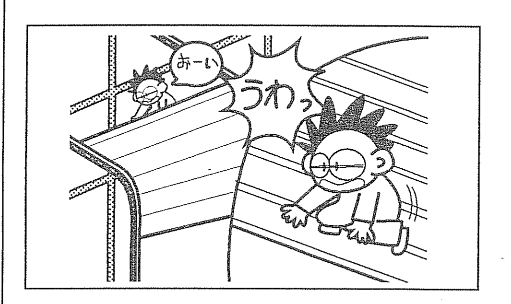


オーバースライディングドアの下やその付近で子供を遊ばせないでください。
思わぬ大けがをする場合があります。

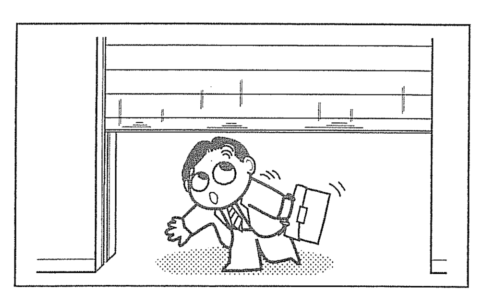


パネルの横のワイヤーには手を触れないでください。
思わぬけがをする場合があります。

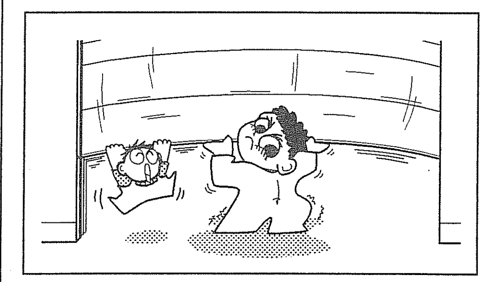
警告 次の警告事項を守ってご使用ください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



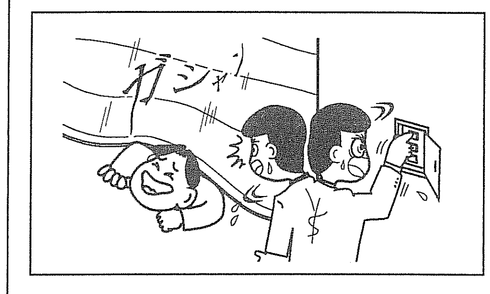
パネルに登ったり、ヒンジ・ローラー・レールに手を触れないでください。
突然動きだし、思わぬけがをする場合があります。



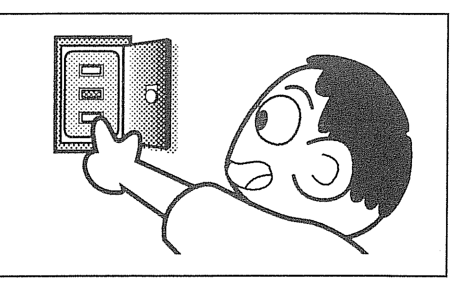
オーバースライディングドアが動いているときに人や車の出入りはしないでください。
パネルにはさまれて、生命にかかわる事故になる場合があります。



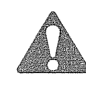
動いているオーバースライディングドアに手をかけたり、手で止めたり、ぶらさがったりしないでください。
パネルに挟まれて生命にかかわる事故になる場合があります。



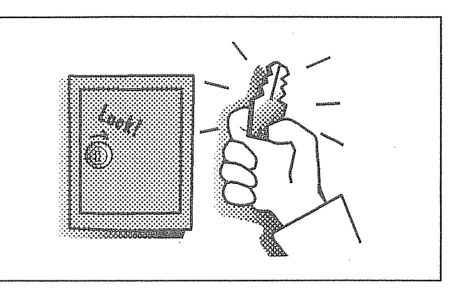
電動ホイスト式の場合、パネル降下中に「開」のボタンを押しても、パネルは上昇しません。思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
パネル降下中に、上昇させたい場合は「停」のボタンを押した後、「開」のボタンを押してください。



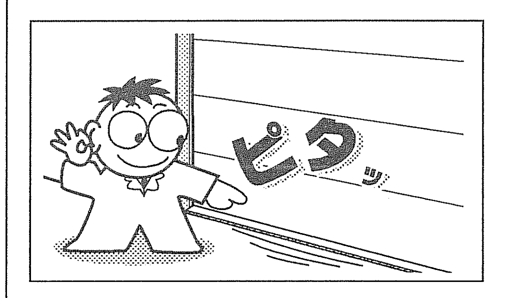
子供には、押しボタンスイッチを操作させないでください。
誤ってはさまれたり、思わぬ大けがをする場合があります。



警告 次の警告事項を守ってご使用ください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



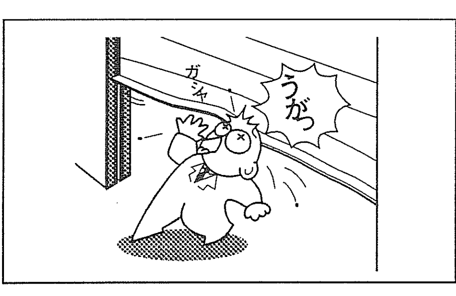
オーバースライディングドアを使用しない場合は、押しボタンスイッチに鍵をかけてください。



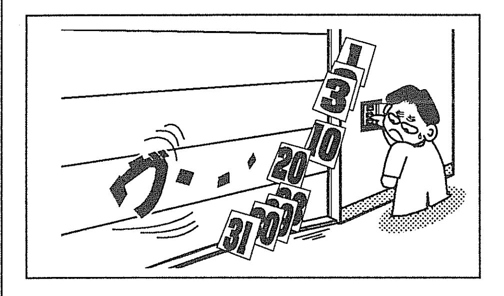
オーバースライディングドアが動いている間は、オーバースライディングドアのそばを離れず、目を離さないようにしてください。第三者がはさまれて生命にかかわる事故になる場合があります。



注意 次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。



オーバースライディングドアは完全に開いてから通行してください。
途中で止めると頭をぶつけたり、車に傷をつけたりする恐れがあります。



少なくとも1ヶ月に1回は開閉してください。
長期間使用しないと開閉不良を起こす恐れがあります。

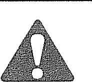
非常時（停電時）操作の注意

注意 次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

停電など非常時に手動操作に切り替えた場合、必ず電動操作にもどしてください。
手動操作のままにしておくと、鍵がかからないので盗難の恐れがあります。

オプション使用上の注意

スライド中柱



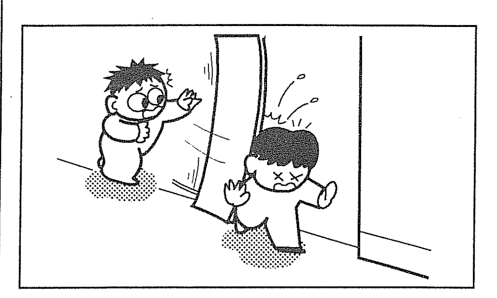
警告 次の警告事項を守ってご使用ください。警告を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。

スライド中柱は確実に固定してください。
固定が不完全だと開閉中にパネルがひっかかったり、強風時に中柱が外れることがあり、生命にかかわる事故になる場合があります。

地盤沈下地域は時間の経過とともに取付寸法が変化します。確実に固定できない場合は24ページに記載してある文化シヤッターサービスまでご連絡ください。



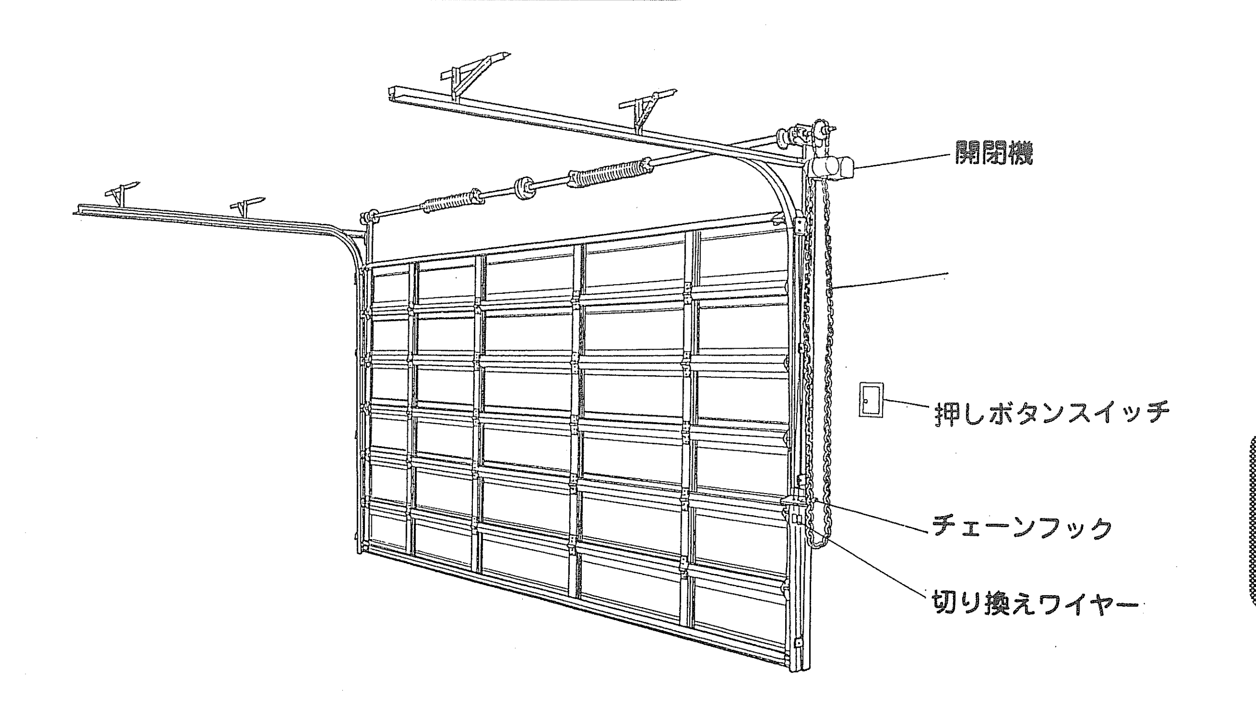
注意 次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。



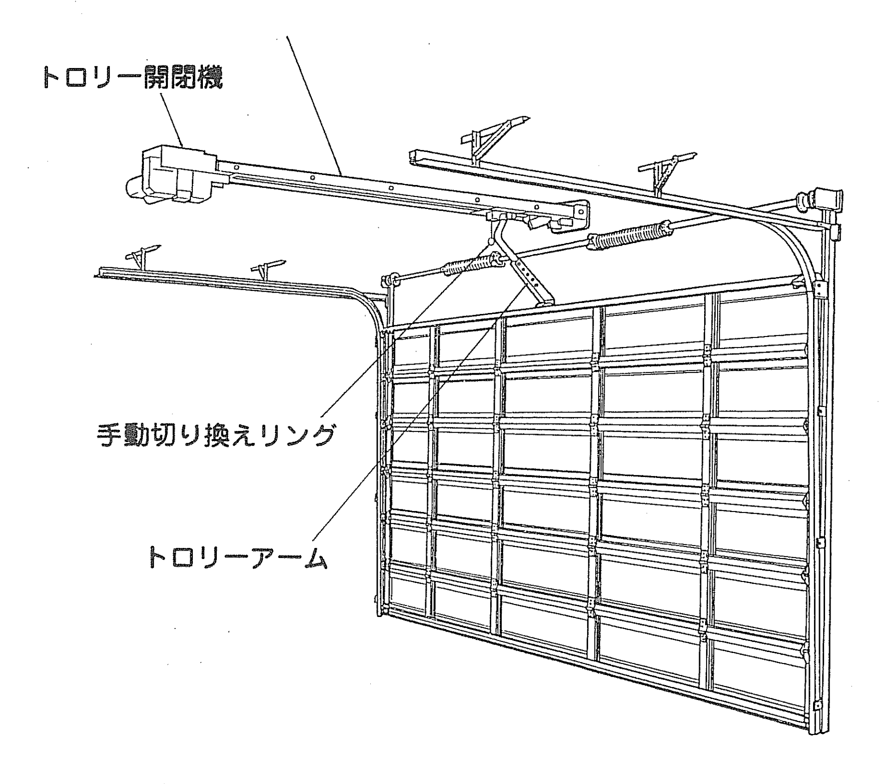
スライド中柱は、垂直にした状態で軽く押すように移動させてください。また移動中は周りにぶつけないようご注意ください。
思わぬけがや事故になる恐れがあります。

本体の名称とそのはたらき

電動ホイスト式（ＢＳＨ－１／２）



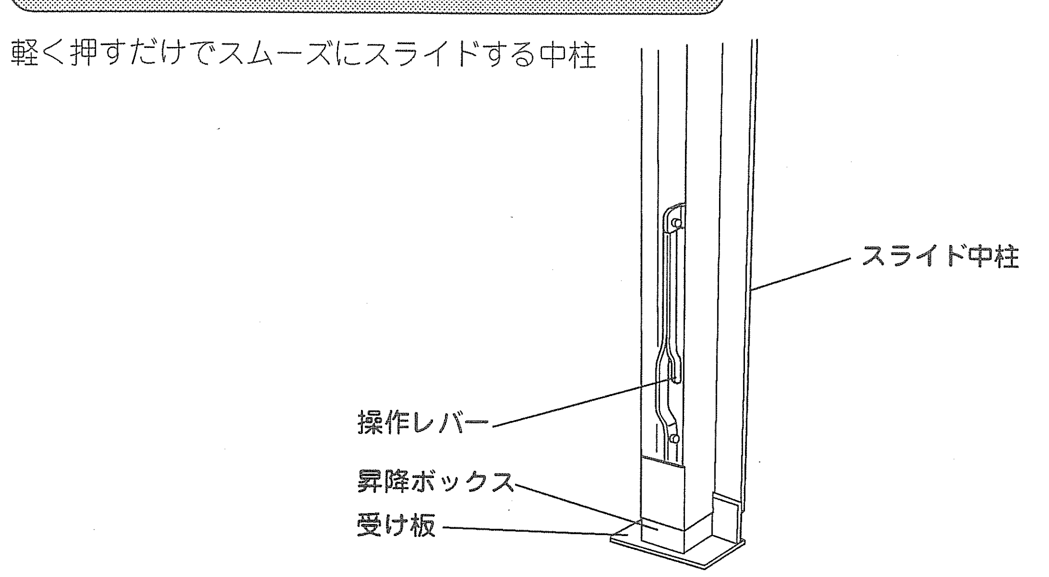
電動トロリー式（ＷＫ－１００／ＢＳＴ－１／２）



オプションの名称とそのはたらき

スライド中柱

軽く押すだけでスムーズにスライドする中柱



製品仕様

製品本体

周囲温度	－１０° Ｃ～４０° Ｃ（凍結は除く）
周囲湿度	ＲＨ８５％以下
特殊条件	沿岸部、化学工場などの腐食性環境および粉塵発生環境は除く。

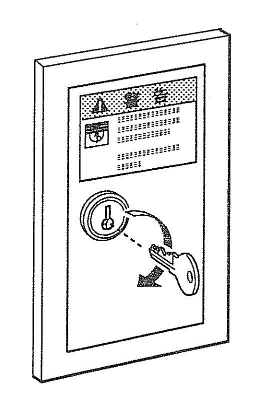
通常時の使い方

⚠ 警告　２ページの「ご使用上の注意」の警告事項を守ってご使用ください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故になる場合があります。

電動ホイスト式（ＢＳＨ－１／２）／電動トロリー式（ＢＳＴ－１／２）

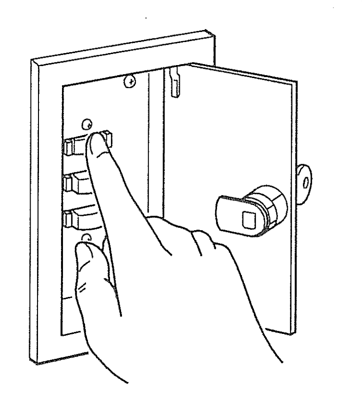
注　記　「開」と「閉」のボタンは絶対同時に押さないでください。故障の原因となります。

1　鍵を差し込み右にまわします。



2　フタをあけます。

3　上昇させるときは、「開」ボタンを押します。



4　上昇または降下を停止するときは、「停」ボタンを押します。



5 降下させるときは、「閉」ボタンを押します。



6 完全にパネルが止まったことを確認し、フタをしめます。

7 鍵を左にまわし、ぬきます。

8 フタがロックされているか確認します。

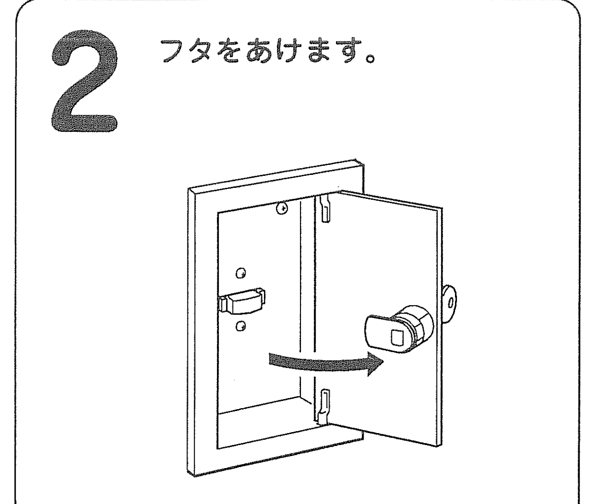
9 鍵を大切に保管します。

電動トロリー式（WK－100）

1 鍵を差し込み右にまわします。



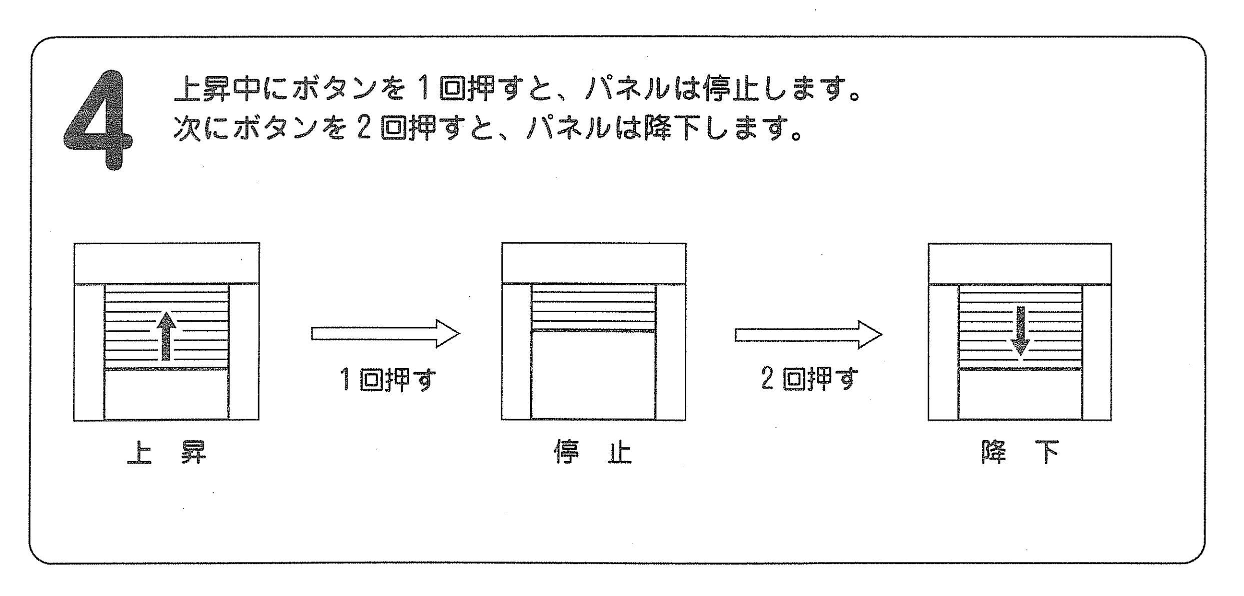
2 フタをあけます。



3 開け方は、ボタンを２回押します。



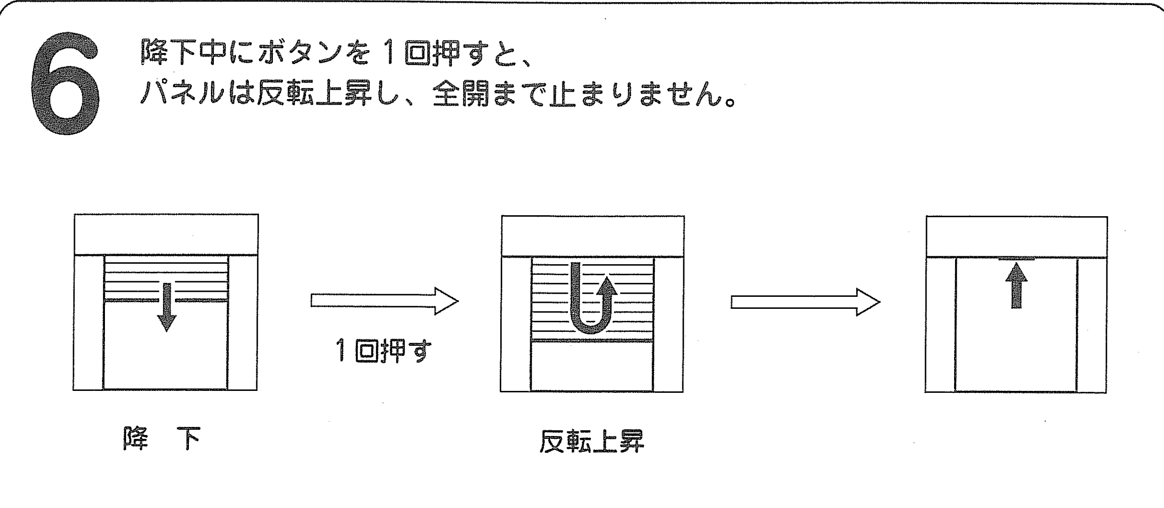
4 上昇中にボタンを１回押すと、パネルは停止します。
次にボタンを２回押すと、パネルは降下します。



5 閉めるときは、ボタンを２回押します。



6 降下中にボタンを１回押すと、パネルは反転上昇し、全開まで止まりません。



7 完全にパネルが止まったことを確認し、フタをしめます。

8 鍵を左にまわし、ぬきます。

9 フタがロックされているか確認します。

10 鍵を大切に保管します。

非常時（停電時）の使い方

⚠注意 ２ページに「ご使用上の注意」の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

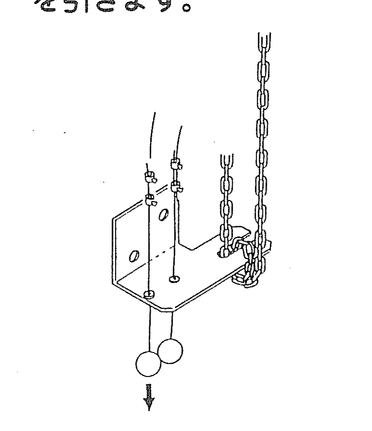
注　記
- 停電時など非常時以外はご使用しないでください。
- パネルの下に、人や物がないことを確認してからご使用ください。

電動ホイスト式（ＢＳＨ－１／２）

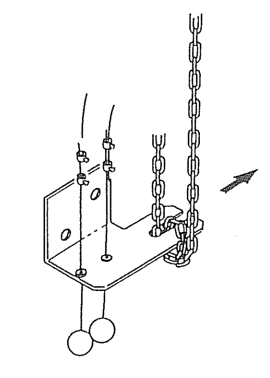
注　記
- 手動操作時に、パネルを直接手で操作しないでください。
必ず手動チェーンにて操作してください。
- パネルを開口以上に絶対上げないでください。

電動→手動

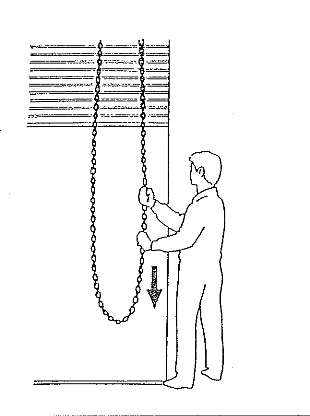
1 切替ワイヤーの手動プレートを引きます。



2 手動チェーンをチェーンフックからはずします。

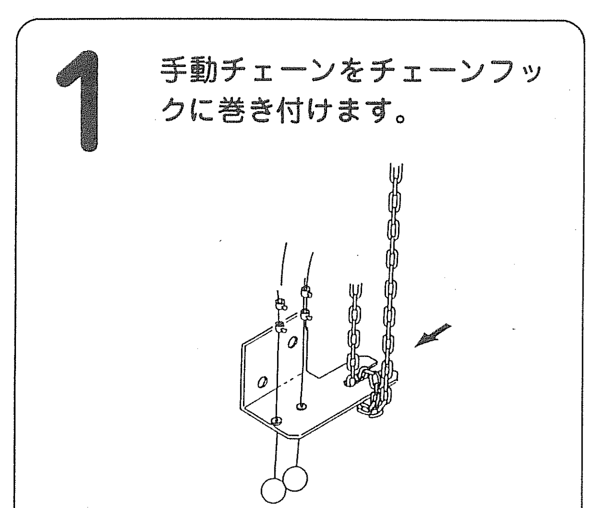


3 手動チェーンをゆっくりと引いて開閉します。

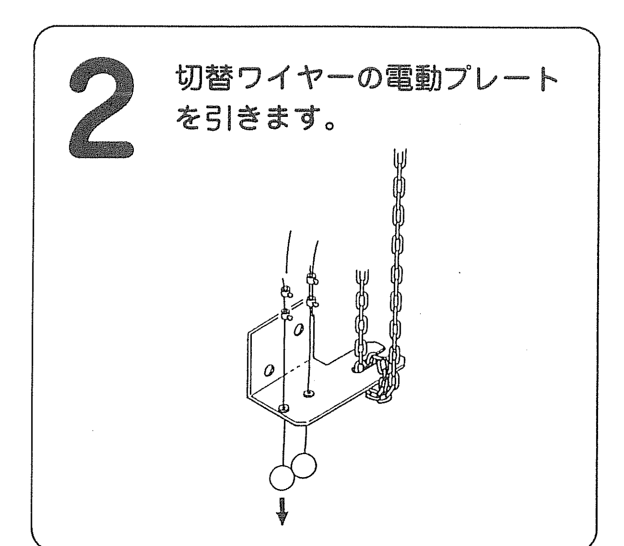


（手動→電動）

1 手動チェーンをチェーンフックに巻き付けます。



2 切替ワイヤーの電動プレートを引きます。



電動トロリー式（ＢＳＴ－１／２）

（電動→手動）

1 フック棒の先を手動切り換えリングにかけます。

2 手動切り換えリングを斜め下に引っ張ります。
カムレバーを下げ、手動の位置にします。

電動の位置　手動の位置

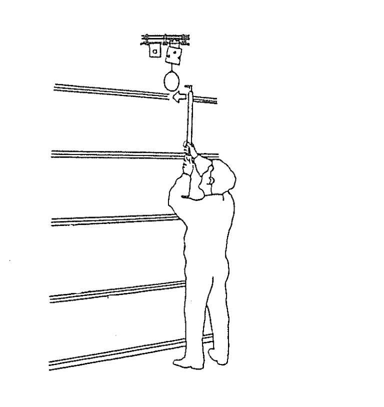
3 パネルが手動で動くことを確認します。



ご使用方法

（手動→電動）

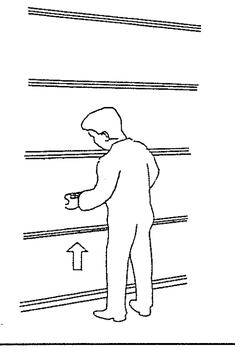
1 フック棒の先を手動切り換えリングにかけます。



2 手動切り換えリングを斜め下に引っ張ります。
カムレバーを下げ、電動の位置にします。

手動の位置　チェーンフック

3 パネルを手動でゆっくり動かし、カムレバーが確実に噛み合うことを確認します。



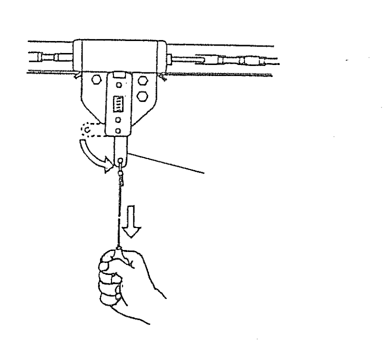
4 パネルが手動で動かないことを確認します。

ご使用方法

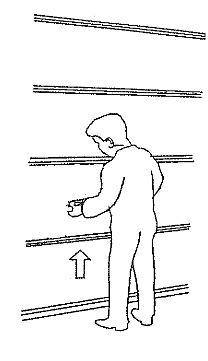
電動トロリー式（ＷＫ－１００）

電動→手動

1 開放ロープ（赤）を下へ引っ張り、結合レバーを垂直位置にします。

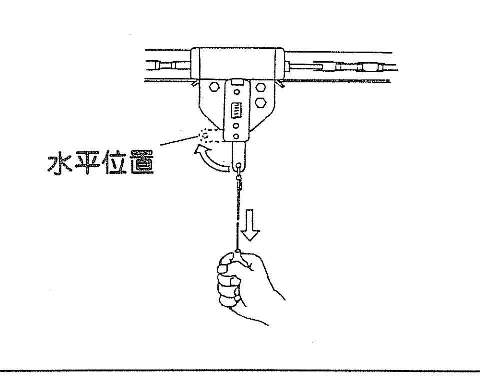


2 パネルが手動で動くことを確認します。

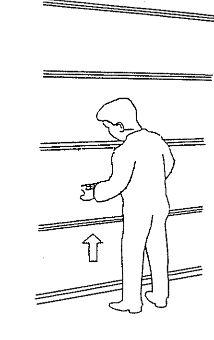


手動→電動

1 開放ロープ（赤）を下に引っ張り、結合レバーを水平位置にします。



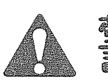
2 パネルを手動で動かしトロリーを移動させ、チェーン接続金物に結合させます。



3 パネルが手動で動かないことを確認します。

オプションの使い方

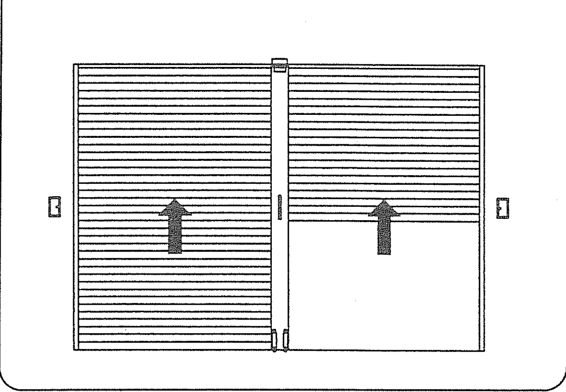
スライド中柱の使い方


警告 ２ページの「ご使用上の注意」の警告事項を守って使用してください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故になる場合があります。

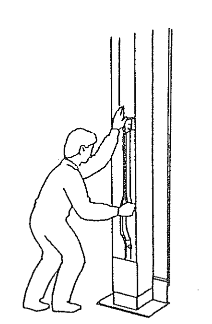
注　記 スライド中柱を動かす前に、シャッターがスライド中柱上部より上に開いているかを確認してください。

収納方法

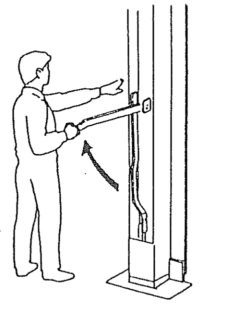
1 パネルをスライド中柱の上まで開けます。



2 片手で操作レバーを握り、もう片方の手でガイドレールを支えます。

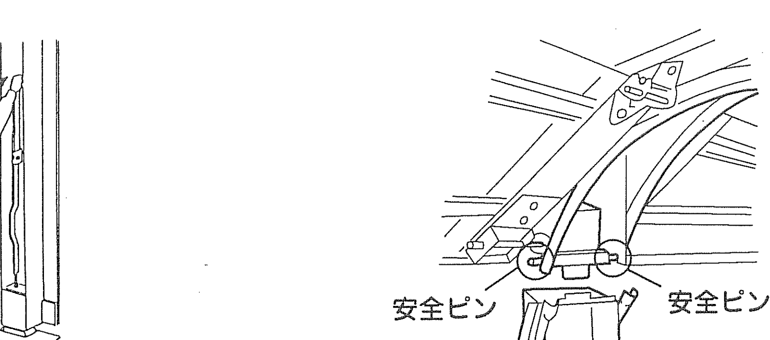


3 操作レバーを図の状態までゆっくり持ち上げます。（スライド中柱が全体に２０㎜～３０㎜下がります。）



4 操作レバーを完全に垂直になるまで持ち上げます。

レール内に安全ピンが出ていることを確認します。

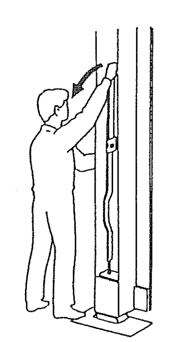


5 スライド中柱を収納方向へ移動させます。

設置方法

1 スライド中柱を静かに側方から引き出し、中央のストッパーに当たるまで移動し止めます。

2 片手で操作レバーを握り、もう片方の手でガイドレールを支えます。

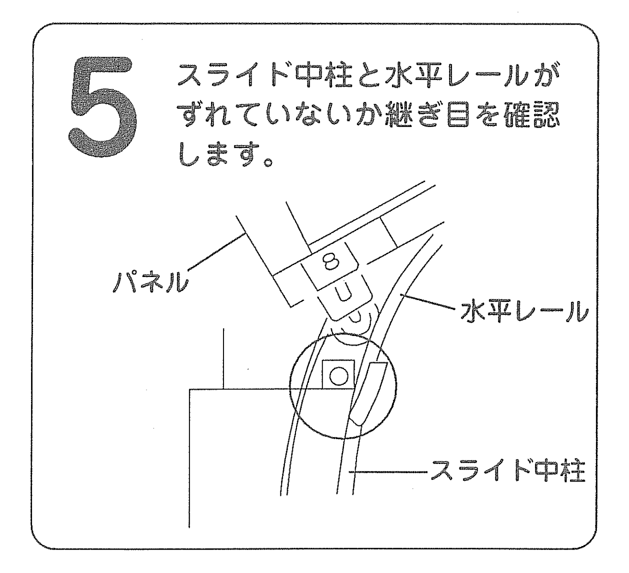


3 操作レバーをゆっくり下げて、昇降ボックスを受け板にセットします。

4 操作レバーを完全に下まで下げてスライド中柱全体をセットします。



5 スライド中柱と水平レールがずれていないか継ぎ目を確認します。



6 パネルを閉めます。

4. お手入れ方法

パネルに雨等により泥、ほこり等が付着しますと錆の発生を早め、美観上からも好ましくありませんので、汚れのひどい時はぬれた布等で汚れを落とした後、かたくしぼった布等で水分をふきとってください。

ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものが付着しますと、塗装がはげたり光沢が失われることがありますのでご使用しないでください。

シンナー

スライド中柱付きの場合は、受け板部分に泥などが入りますと、昇降ボックスがセットしにくくなりますので泥を排出してください。

5. 点検

日常点検

⚠ 警告 次の警告事項を守ってご使用ください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。
日常点検で不具合を発見したら、ただちに使用を止め24ページに記載してある文化シヤッターサービスまでご連絡してください。

1 警告ラベルの脱落、破れ、はがれなどの破損がないかお確かめください。読めなかったり、正しく貼られていなかったり、破損していたりしたら、新しいラベルと交換してください。

2 オーバースライディングドアの開閉状態について以下の事項をご確認ください。

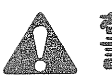
・パネルが左右に大きく傾いていないこと。
・今までと違った異音がしないこと。
・今までと違った振動がしないこと。
・外観に使用上有害な変形がないこと。
・上限下限で停止すること。
・停止してからパネルが滑り降りないこと。

3 オーバースライディングドア降下ライン上に、商品・ショーケースなどの物がないこと。

4 押しボタンスイッチの操作は容易に行える状態にあること。

定期点検

● 「オーバースライディングドア電動式」の安全性を維持するためには定期点検が必要です。

 **警告** **定期点検は、必ず行ってください。適切な定期点検を行わないと、人身事故や重大事故につながるが場合があります。専門メーカに定期点検作業をご依頼ください。専門メーカ以外の点検は、人身事故や重大事故につながる場合があります。**

点検実施回数の目安

● オーバースライディングドアの点検回数は、多いにこしたことはありませんが、だいたいの目安は下表のようになります。

一日当たり開閉頻度	定期点検回数（年）
1～4回	2
5回以上	打ち合わせによる

● 実際には、オーバースライディングドアの大きさ、経過年数、使用条件および用途により点検回数は異なりますので、24ページに記載してある文化シヤッターサービスにお問い合わせください。

定期点検契約について

● 文化シヤッターサービス株式会社にて「定期点検契約」を結んでいただくと年に1～2回の定期点検を実施します。詳しくは、24ページに記載してある文化シヤッターサービスにお問い合わせください。

製品本体

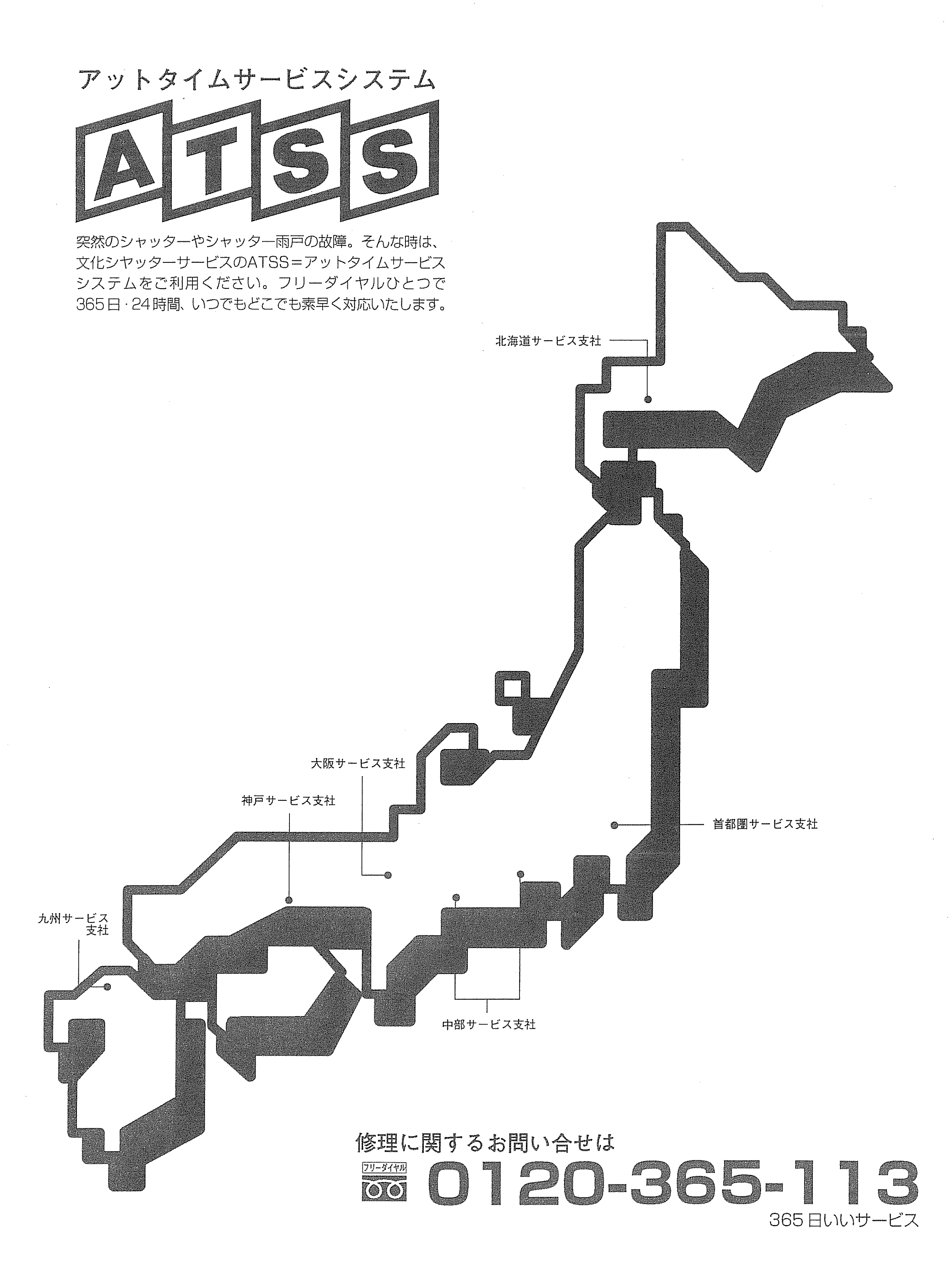
状　況	原　因	対　処
押しボタンを押してもシャッター動かない。	シャッターの元電源（一次側電源）が切れている。	シャッターの元電源を入れてください。
シャッター開閉時の異常音。 シャッターがスムーズに動作しない。	ただちに使用を中止して、24ページに記載してある文化シヤッターサービスに連絡してください。	

● 対処しても動かない場合、または、上記にあてはまらない場合には、24ページに記載してある文化シヤッターサービスにご連絡ください。

アットタイムサービスシステム

ATSS

突然のシャッターやシャッター雨戸の故障。そんな時は、文化シヤッターサービスのATSS＝アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日・24時間、いつでもどこでも素早く対応いたします。



修理に関するお問い合せは

フリーダイヤル 0120-365-113

365日いいサービス

